

受験生のみなさんへ

成功も失敗もあったところで

校長の娘の

受験日記から

実は、校長の私も昨年度は受験生の母だったのです。娘は一人っ子で保育園の時は、一番最初に登園し最後の一人になるまで保育園で過ごすという生活で育ち、思いっきりマイペース。一人の時間を過ごすのが上手（もちろん勉強以外）、まったりと自分の時間を楽しむ余裕すら見受けられる子供に育ちました。そんな娘が受験！大丈夫だろうか？大丈夫なはずがない。少しは母親らしく面倒を見なければと、教員の目と母親という目で、「何とかならないかなあ」と過ごした1年間。失敗もありました。その失敗が皆様のお役に立てばと、今年も書きます。昨年度は実況中継という感じで、学校見学会の折、ちょっぴりプレゼントと言ってお話ししました。

そんなわけで、受験生の皆さんにと言いながら、つい、保護者向けになってしまう時の方が多いかと思いますが、まあ、よろしければ、読んでいただければ^^)

7月：夏休みに向けて

約40日ある夏休み。「何とかここで受験の見通しをつけたい」という時期です。見通しとはすなわち、「力をつけたい」それも、「まとまった時間の分だけ力が伸びるだろう」というアサハカな期待が母にはあった。いえ、母だけでなく、たぶん娘にもあったのではないかと。「お母さんの話を聞いていたら、夏休みの終わりには志望校の道を順調に上っているだろう」と。

もちろん勉強すればね^^)

そこで私は娘に作戦を与えることに。夏休みは理科と社会を伸ばす時期。「理科と社会、それぞれ教科書3年分の単元名を書いて表にしてごらん。都立の過去問で、出た単元名に色をつけてみると、毎年出る単元があるから、そこから勉強しなさい」というわけです。ついでに、その表に、勉強した時はチェックを入れるようにして管理をするとよいと。これで夏休みの終わりには理科、社会は8割達成！！のはずでした。

↑これ、オススメです。是非夏休みの勉強で実践してください^^)理社は、やっぱり8割欲しいです。←コレ、教員の顔の方の私。